

ほのめく

174 びんたっん



ペットボトルに込めた想い

大崎ものづくり会館でペットボトルで出来たツリーの点灯式が行われ、震災復興への祈りを込めて、光がともされました。約800本のペットボトル1つひとつには、小中学生や保育園児童の被災地へ向けた応援メッセージが記されていました。

今月の表紙

薩摩郷句

兼題「丁度」

顔ん皺母け丁度の婆いなっつ

(唱) 鏡に向こつ 母さん言て見つ

植村 昭子

丁度の片手で売れち指ぶ握つ

(唱) そいじやどもこも 手放しやならん

北村 虎王

ラブシーン丁度のとき客が来つ

(唱) グッツ生唾ぶ 飲もしたとこい

二見愚楽満

亭主て見せつ丁度似合か念ぬ押つ

(唱) 似合が似合がち 見もせじ褒めつ

上村 牛歩

野菜ん汁い飯も丁度儉し夫婦

(唱) も一杯言事ちや 家じや通らじ

諸木 美舟

大崎短歌会

老いの身も華やぐ今日は文化祭 膝の痛みも 苦にならぬらし

坂元つる子

潮騒にはげまされつつウオーキングわが町自 慢のくにの松原

穂園 芳江

文化祭それは青春友集ひ共に語らひ明日を誓 ぶ

溝口 稔

停年のなき職えらびしこの至福われより他は 皆師と仰ぎ

宮原 のり

平凡に今日も過ぎたる日暮れどき目の覚むる ごと夕顔ひらく

内田ちどり

大崎俳句会

差し入れの小さきおにぎり栗ごはん 中崎ハナエ

小春日やみどり児笑みつ夢の中 三浦 倫子

落葉踏む犬の足音微かなり 春田 昌子

湧水や砂は踊りてもみじ舞ふ 二見 淑

登り来て寺のきざはし秋の花 内田ちどり

葉のうらに仄かに残る樞の実 桑原 正樹

長き夜の夢に逢ひけり若き妻 溝口 稔

人権啓発シリーズ②②

あなたの当たり前が、誰かを傷つけているかも。

～HIV感染者の人権について考えるための『気づき』のヒント～

- 感染したのは本人の責任だと思う。
- 頭では理解しているが、感染者と接するのに不安がある。
- 正しい知識を身につけても、差別はなくならないと思う。
- 自分は感染しない。

私たち一人ひとりが、HIVについて正しい知識を持つことが、差別の解消につながります。

感染したことで家族や社会から孤立してしまうことのないような社会にしていけることが大切です。